

JIS

マネジメントシステムの パフォーマンス改善－プロセス保証の指針

JIS Q 9027 : 2018

(JSQC/JSA)

平成 30 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	東京大学
(委員)	伊藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	金丸 淳子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	中村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	槇 徹雄	東京都市大学
	三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 30.3.20

官 報 公 示：平成 30.3.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本品質管理学会

(〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内 TEL 03-5378-1506)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
0 序文	1
0.1 一般	1
0.2 他の規格との一貫性	1
0.3 JIS Q 9001 と JIS Q 9004 との関係	1
0.4 他のマネジメントシステムとの両立性	1
1 適用範囲	2
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 プロセス保証の進め方	4
4.1 生産及び提供におけるプロセス保証の構成要素	4
4.2 標準化の進め方	5
4.3 工程能力の調査及び改善の進め方	6
4.4 トラブル予測及び未然防止の進め方	11
4.5 検査・確認の進め方	16
4.6 工程異常への対応の進め方	19
5 プロセス保証のためのツール	22
5.1 工程能力指数	22
5.2 プロセス FMEA	25
5.3 保証の網 (QA ネットワーク)	29
附属書 A (参考) 品質保証におけるプロセス保証の役割	33
附属書 B (参考) 標準化	35
附属書 C (参考) 工程能力の調査及び改善	36
附属書 D (参考) トラブル予測及び未然防止	37
附属書 E (参考) 検査・確認	38
附属書 F (参考) 工程異常への対応	39
解 説	40

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本品質管理学会（JSQC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から団体規格（JSQC-Std 21-001:2015）を基に作成した工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

マネジメントシステムのパフォーマンス改善— プロセス保証の指針

Performance improvements of management systems— Guideline for Quality Ensurance by Process

0 序文

0.1 一般

製品及びサービスによって顧客に価値を提供するには、顧客にとって魅力的な製品及びサービスを企画及び設計し、それを確実に生産及び提供する必要がある。このため、企画及び設計においては、潜在的なものも含め、顧客のニーズを的確に把握して要求を明確化し、それらを具現化する仕様に変換することが肝要となる。これに対して生産及び提供では、このように企画及び設計で決めた仕様を確実に実現するプロセスを確立し、決められたとおり実施することが肝要となる。これらの実現に際して重要な考え方が“品質をプロセスで作り込む”であり、そのための具体的な活動がプロセス保証である。品質保証におけるプロセス保証の役割を**附属書 A**に示す。

この規格は、生産及び提供において、“品質をプロセスで作り込む”を狙いとするプロセス保証を効果的に実施するために、組織が何をすべきかの指針をまとめたものである。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

0.2 他の規格との一貫性

この規格は、プロセス保証を対象としており、独立して使用することを意図して作成しているが、マネジメントシステムのパフォーマンス改善に関する次の一連の規格と整合性のある規格として相互に補完して使用することもできる。

- 方針管理を対象とする **JIS Q 9023**
- 日常管理を対象とする **JIS Q 9026**
- 改善活動を対象とする **JIS Q 9024**
- 企画及び設計のプロセス保証で用いられる品質機能展開を対象とする **JIS Q 9025**

この規格は、**JIS Q 9005**に規定された品質マネジメントに関する支援技法として使用することを想定して作成している。

0.3 JIS Q 9001 と JIS Q 9004 との関係

この規格は、組織が **JIS Q 9001** 及び **JIS Q 9004** に基づくマネジメントシステムを、効果的かつ効率的に運営管理するための支援技法として使用されることを想定して作成されている。

0.4 他のマネジメントシステムとの両立性

この規格は、環境マネジメント、労働安全衛生マネジメント、財務マネジメントなどのマネジメントシステムに関する固有な支援技法として作成してはいないが、関連するマネジメントシステムのパフォーマンス改善を支援する技法として組織が使用することができる。